

# チリの世界遺産 #2

## バルパライソの海港都市の歴史的な街並み

バルパライソの石段



バルパライソにはあちらこちらに多くの落書きがあります！どこに行っても、面白いアートが見られます。

バルパライソ(Valparaíso)はチリの第2都市で、最大の港町です。1990年にサンティアゴから国会議事堂がバルパライソに移動されました。バルパライソの歴史はとても長いです。元々先住民が暮らしていたが、1536年にスペイン征服者のディエゴ・デ・アルマグロがたどり着き、「バルパライソ」と名付けました。そして、スペインの植民地になりました。当時、バルパライソはとても小さな港村でしたが、1818年にスペインから独立し、チリ海軍の主要港になりました。それまでスペインの植民地のみに制限されていた貿易は世界中に開かれたことで、町は繁栄し、チリの最も重要な港になりました。昔の面影をそのまま残しているバルパライソはノスタルジックで魅力的な港町です。

### なぜ世界遺産に？

バルパライソの街並みはとても不思議です！丘が多く、急な斜面に家屋が建ち並んでいます！坂道や石段が多く、細い路地が入り組んでいます。まるで迷路のようです！家屋はカラフルで、町の至る所はストリートアートで溢れています。アートでいっぱい、おしゃれな町、それがバルパライソです！

そして、バルパライソは古くから貿易港として国を支えてきたので2003年に「海港都市の歴史的な街並み」(スペイン語で“Casco histórico de la ciudad portuaria de Valparaíso”)としてユネスコの世界遺産に登録されました。

1646年のバルパライソ



現在のバルパライソ



バルパライソには急斜面が多いので、移動は中々大変です。そこで「アセンソール」が登場します！「アセンソール」はエレベーターのような小さなケーブルカーです。19世紀から使われています。昔はたくさん「アセンソール」がいましたが、現在は10基しか残っていません。市民の足であり、面白い観光スポットでもあります。最も古い「アセンソール」は「コンセプション」と呼ばれ、1883年に設置されました。現在は当時のまま使われています！  
明治16年だね！



「アセンソールコンセプション」(\*)  
1883年にコンセプション丘に設置されたバルパライソの最古アセンソールです

\*Ccaba77/ CC BY-SA (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0)